

MICRO CADAM Helix Webセミナー

メニュー・バー操作解説 [ファイル] 編

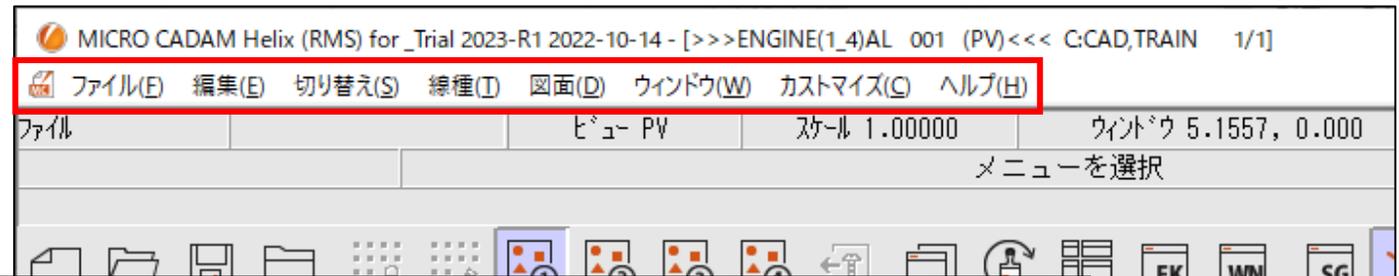
株式会社CAD SOLUTIONS
営業本部

はじめに

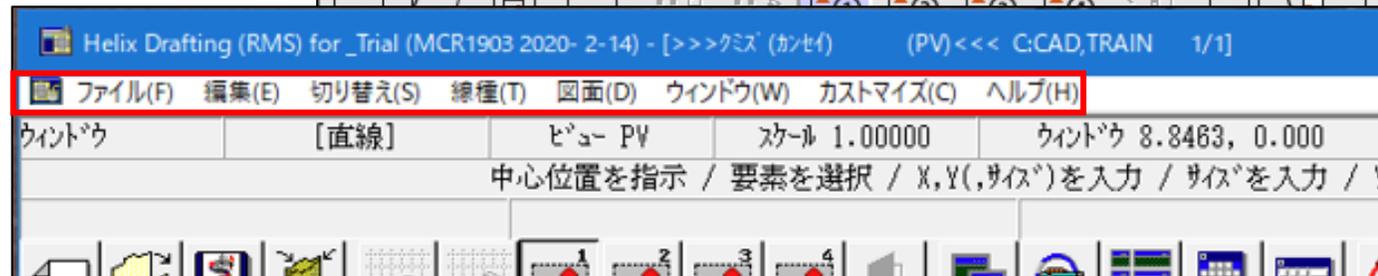
- メニュー・バーとは、ファンクション/メニューの機能を補完するためにMC V3以降に追加されたツールセットで、これまでに多くの機能拡張を行ってきました。

バージョン別のメニュー・バー表示

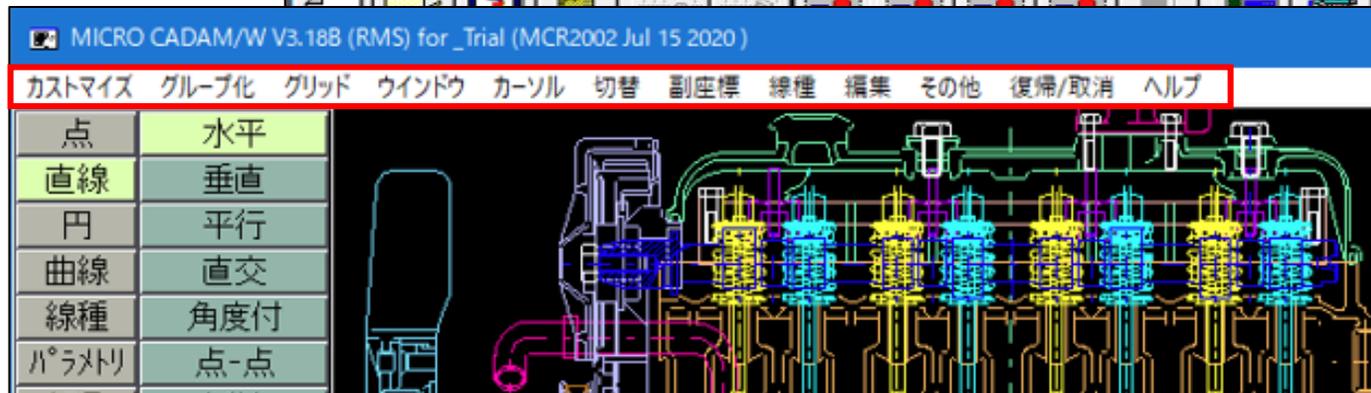
MC Helix 20xx



MC Helix V4



MC V3





ファイル(F)

- 新規作成(S)
- 呼び出し(A)...
- 上書き保存(V) / DXFファイルの上書き(Y) ★
- 名前を付けて保存(E) / DXFファイルの別名保存(E)...
- すべて保存(L)
- 閉じる(C)
- すべて閉じる(O)
- カプセル化図面呼び出し(P)...
- 画面印刷(F)
- 印刷の設定(T)...
- 印刷(I)
- 簡易出力(Y)...
- PDF形式で保存(B) ★
- DXF形式変換(M)
 - MC->DXF変換(L) ★
 - DXF->MC変換(N)
- ログオフ(G)
- 終了(X)

★印の付いた機能を使用するには、ライセンスが必要です。

編集(E)

- 図形複写(ビットマップ)(B)
 - クリップボード(カラー)(C)...
 - クリップボード(モノ)(L)...
 - ファイル(カラー)(F)...
 - ファイル(モノ)(M)...
- 図形複写(メタファイル)(M)
 - クリップボード(カラー)(C)...
 - クリップボード(モノ)(L)...
 - ファイル(カラー)(F)...
 - ファイル(モノ)(M)...
- 注記貼り付け(N)
- 元に戻す(D)
- やり直す(R)
- テキストを元に戻す(U) Ctrl+Z
- 切り取り(T) Ctrl+X
- コピー(C) Ctrl+C
- 貼り付け(P) Ctrl+V
- 削除(E) 削除
- 文字列の検索(S)...
- 図形の検索(A)...
- ハイパーリンク(H)...
- オブジェクト(O)...
- リンク(L)...

図面(D)

- グリッド・ロック(G)
- グリッド表示(S)
- グループ1組(1)...
- グループ2組(2)...
- グループ3組(3)...
- グループ4組(4)...
- 部品(B)
 - 階層(T)...
 - トップ(T)...
 - 親(U)
 - 子(D)
 - 次(N)
 - 前(P)
 - 解除(E)
 - 解除確認(C)
- 子図(D)...
- ビュー(V)
- 非現行ビュー色(N)
 - 設定(S)
 - 解除(C)
- オーバーレイ(O)
- 副座標(B)...
- レイヤー(Y)...
- オーバーレイ・レイヤー(L)
- グローバル変形(B)
- 文字コード(C)
 - 自動(A)...
 - 日本語(J)...
 - 中国語(C)
 - 台湾語(T)
 - 韓国語(K)
 - ラテン文字1(1)
 - ラテン文字2(2)
 - キリル文字(Y)

線種(T)

- 線種1(1)...
- 線種2(2)...
- ペン(P)...
- カラー(C)...
- 無指定色(D)
- システム・カラー(S)...
- 線幅(W)...
- 線幅解除(O)
- 継承モード(D)...

今回解説する範囲



- ウィンドウ複写(W)
- 子図ウィンドウを開じる(O)
- 状態保存(S)
- 状態復元(L)
- 自動状態保存(U)
- 再表示(P)
- 図面の再表示(D)
- 全図面の再表示(A)
- 重複表示(S)
- 重複要素の確認(O)
- 表示範囲の変更(R)...
- 拡大表示(Z)...

- タイル・キープ表示(K)
- タイル表示(T)
- カスケード表示(C)
- アイコン整列(A)
- 標準サイズ(O)
- ファンクション・ボックス(F)...
- スマートガイド・ボックス(S)...
- <ウィンドウ>ボックス(W)...
- メッセージ・ボックス(M)...
- レイヤー・ボックス(L)...
- 変数ボックス(V)...
- 線種ボックス(Y)...
- 1 >>>
- .
- ・ (図面ウィンドウのリスト)
- .
- Q

- カーソル(C)
 - ▶ 十字(C)
 - 全画面(F)
 - 小十字(S)
 - 矢印(A)
 - 小四角(Q)
 - プラットフォーム(P)
- マウス(M)...
- キーボード(K)...
- 図面選択(W)
 - ▶ シングルクリック(S)
 - ダブルクリック(D)
- スマートガイド(G)
- スマートハイライト(H)
- スマートストレッチ(S)
- スマートアシスト(A)
- スマートメニュー(P)
- ラバーバンド表示(B)
- 座標値表示(O)
- 配置子図要素選択(I)
- ファンクション(F)...
- メニュー(N)...
- メッセージ(E)...
- 図面ウィンドウ(D)...
- New Look(L)...
- 文字入力方法(T)
 - ▶ 間接入力(T)
 - 同時入力(D)
 - 直接入力(O)
 - 入力域(K)
- 環境設定再読み込み(L)
- 環境設定ファイル(S)...
- ユーザーボタン定義(B)...
- イベントスタック(V)
 - ▶ 実行(E)...
 - 直ちに実行(X)
 - 記録(R)...
- VBコード作成(X)

- オンライン・ヘルプ(O)...
- チュートリアル(T)...
- ヘルプ・ボックス(B)...
- ログ収集(S)...
- 起動状況(O)...
- バージョン情報(A)...

メニュー・バー [ファイル] 解説

メインメニュー	サブメニュー	解説
新規作成(S)		図面を新規に作成します (ツールバー と同じ機能です)
呼び出し(A)...		既存の図面を一覧表から開きます (ツールバー と同じ機能です)
上書き保存(V) (注-1) または DXFファイルの上書き(V)		<p>上書き保存：MC図面を呼出した場合に表示されます 表示図面を同じ保存先に上書き保存します (ツールバー と同じ機能です)</p> <p>DXFファイルの上書き：直接呼び出したDXF/DWG ファイルの際に表示されます ファイルを保存するとき、現在のMC→DXF変換の変換パラメーター (下記参照) を使用します 現在の設定：メニュー・バー [ファイル] → [DXF形式変換] → [MC->DXF変換] → [設定] → [変換パラメータ] で設定されている内容で変換されます MCDXFn.SYSファイルは [変換パラメータ] の初期値であって、インタラクティブで変更されたカレントな設定が変換時に使われます</p>
名前を付けて保存(E)… (注-1) または DXFファイルの別名保存(E)		<p>名前を付けて保存：MC図面を呼出した場合に表示されます 表示図面を保存場所や図面名を変更して保存します 環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」→「図面一覧」→「名前を付けて保存」にHelixエクスプローラーを使用するをONにすると図面保存の際にHelixエクスプローラーを利用できます</p> <p>DXFファイルの別名保存：直接呼び出したDXF/DWG ファイルの際に表示されます ファイルを保存するとき、現在のMC→DXF変換の変換パラメーター (下記参照) を使用しますが、上書き保存とは異なり、保存場所やファイル名を変更することができます 現在の設定：メニュー・バー [ファイル] → [DXF形式変換] → [MC->DXF変換] → [設定] → [変換パラメータ] で設定されている内容で変換されます MCDXFn.SYSファイルは [変換パラメータ] の初期値であって、インタラクティブで変更されたカレントな設定が変換時に使われます</p>
すべて保存(L)		<p>表示中の複数図面を一括して上書き保存します (修正された図面が対象です)</p> <p>直接呼び出したDXF/DWG ファイルは、MC図面として保存されます</p>

①

②

直接呼び出したDXF/DWGファイルとは、Windows エクスプローラーからDXF/DWGファイルをダブルクリックしたり、MC Helixの作画領域内にファイルをドラッグ&ドロップしたりして開いた図面のことです。

(注-1) DXF/DWGファイルへの対応は2020-R1以降の機能です。

③

メインメニュー	サブメニュー	解説
閉じる(C)		表示図面を個々に閉じます (ツールバー と同じ機能です) 図面が修正されている場合、確認のメッセージが表示され、図面をファイルすることができます
すべて閉じる(O)		表示中の編集された複数図面を一括して閉じます 図面が修正されている場合、確認のメッセージが表示され、図面をファイルすることができます
カプセル化図面呼び出し(P)...		カプセル化機能の対象の図面を選択します
画面印刷(F) (注-2)		画面に表示されている状態そのままをプリンターに出力します 印刷方向などは“通常使うプリンター”の設定に従います 環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」→「全般」→「画面印刷を有効にする」をONにすると可能になります
印刷の設定(I)...	(注-2)	下記の【印刷】で出力するための印刷範囲、モノクロ/カラー切換え、印刷装置の設定などを行います
印刷(I) (注-2)		上記の【印刷の設定】で指定した内容で印刷を実行します 線幅は考慮されない等、FK<出力>よりも簡易化された出力方法です
簡易出力(Y)...	(注-2)	アクティブな図面ウィンドウに表示されている図面をプリンターに出力します 上記の【画面印刷】【印刷】と異なり、FK<出力>で指定したプロット・データを出力範囲として設定できます
PDF形式で保存(R) (注-3)		PDF形式で出力します
DXF形式変換(M) (注-4)	MC->DXF変換 (L)	表示されているMC図面をDXF/DWGデータに変換します
	DXF->MC変換 (N)	DXF/DWGデータをMC図面に変換します

(注-2) 詳しくはチュートリアル→ [上級者・管理者向け (II)] → [出力設定ガイド] → 「簡易出力」を参照ください

(注-3) 詳しくはチュートリアル→ [上級者・管理者向け (I)] → [PDF変換設定] → 「解説書」を参照ください

(注-4) 詳しくはチュートリアル→ [上級者・管理者向け (I)] → [DXF/DWG変換設定] → 「解説書」を参照ください

動画解説はチュートリアル→ [お役立ち情報] → [機能紹介動画] → [Webセミナー] → [機能解説セミナー] を参照ください

④

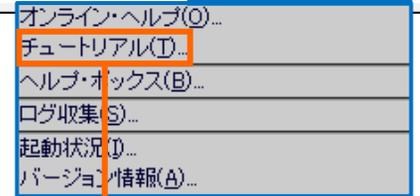
メインメニュー	サブメニュー	解説
最近使用した図面の一覧表示 (注-5)		<p>FKファイル【プロファイル】で最大9図面まで設定可能です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MC図面名形式：図面名、区画、グループ、ユーザーが表示されます ・ OSファイル名形式：図面名、フォルダーのパスが表示されます ・ 直接呼び出したDXF/DWGファイルは図面リストに表示されません
ログオフ(G) (注-6)		<p>すべての図面ウィンドウを閉じ、作業している2Dモジュールをログオフします ログイン時にユーザーIDを入力する設定の場合、ログイン画面が表示されます 図面が修正されている場合、確認のメッセージが表示され、図面をファイルすることもできます</p>
終了(X) (注-6)		<p>すべての図面ウィンドウを閉じ、2Dモジュールを終了します 図面が修正されている場合、確認のメッセージが表示され、図面をファイルすることもできます</p>

(注-5) MC Helix 2020-R1以降の機能です。

(注-6) ログイン時にユーザーIDを入力する設定をしていない場合、ログオフと終了の違いはありません。



<https://www.cad-solutions.co.jp/MCTutorial/index.html>



(注) チュートリアルは2020-R1から追加されています。

MICRO CADAM Helix チュートリアル

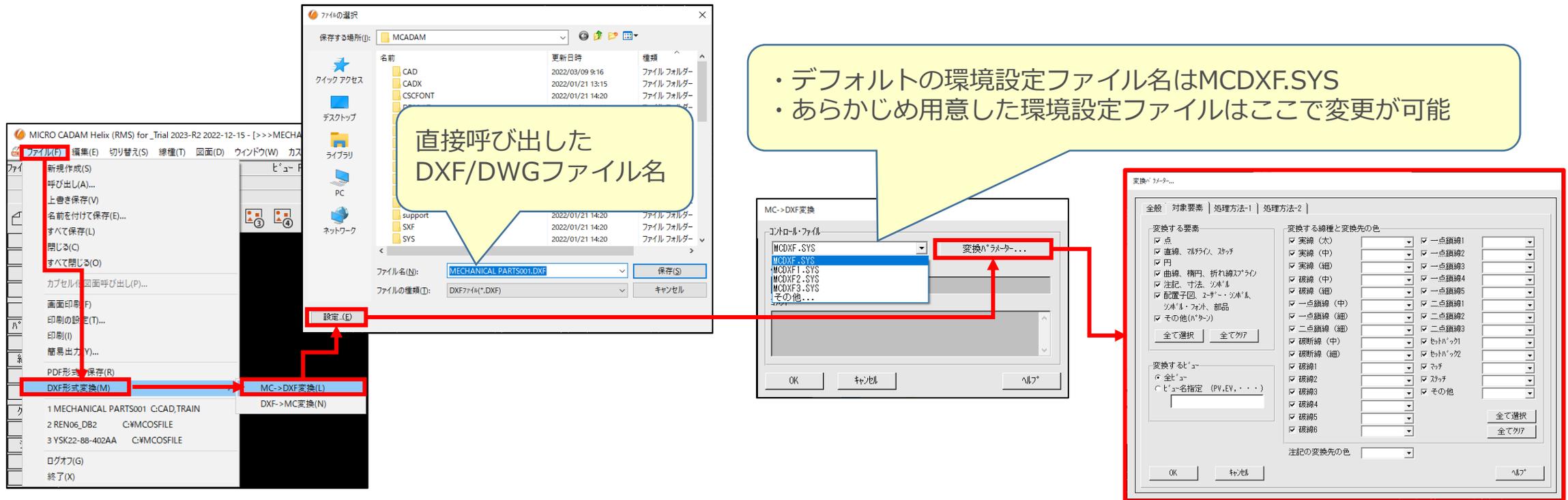
お席で受講可能なWebセミナー！お申し込みはこちら▶▶▶ [Webセミナー申込](#)

<p>はじめに</p> <p>*Step1~5を学習する前に必ずご確認ください。 *操作手順に従って図面やデータをダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ご利用の手引き 📖 解説書 基本操作ガイド 📖 解説書 練習用データ(OSファイル名形式) 📄 download 練習用データ(MC図面名形式) 📄 download 	<p>Step1.図形要素の入力 (I)</p> <ul style="list-style-type: none"> 点 ▶ 操作手順 直線 ▶ 操作手順 円 ▶ 操作手順 曲線 ▶ 操作手順 	<p>Step2.図形要素の編集 (I)</p> <ul style="list-style-type: none"> 線修正 ▶ 操作手順 オフセット ▶ 操作手順 コーナー ▶ 操作手順 グループ ▶ 操作手順 消去 ▶ 操作手順
<p>Step3.図形要素の入力 (II)</p> <ul style="list-style-type: none"> 注記 ▶ 操作手順 寸法 ▶ 操作手順 子図 ▶ 操作手順 シンボル ▶ 操作手順 	<p>Step4.図形要素の編集 (II)</p> <ul style="list-style-type: none"> 線種 ▶ 操作手順 投影図 ▶ 操作手順 副座標 ▶ 操作手順 レイヤー ▶ 操作手順 解析 ▶ 操作手順 	<p>Step5.図面データの操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイル ▶ 操作手順 ウィンドウ ▶ 操作手順 出力 ▶ 操作手順 DXF/DWG変換 ▶ 操作手順 PDF変換 NEW!! ▶ 操作手順 アクセス ▶ 操作手順
<p>上級者・管理者向け (I)</p> <ul style="list-style-type: none"> シンボル 📄 download ▶ 操作手順 投影図 📄 download ▶ 操作手順 レイヤー 📄 download ▶ 操作手順 部品 📄 download ▶ 操作手順 ライブラリ 📄 download ▶ 操作手順 パラメトリック 📄 download ▶ 操作手順 DXF/DWG変換設定 UPI! 📖 解説書 (注-4) PDF変換設定 NEW!! 📖 解説書 (注-3) 	<p>上級者・管理者向け (II)</p> <ul style="list-style-type: none"> セットアップガイド 📖 解説書 出力設定ガイド 📄 簡易出力 (注-2) 基礎編 📖 基礎編 応用編 📖 応用編 ACCESSプログラム開発ガイド 📖 はじめに バッチ編 📖 バッチ編 対話編 (新規作成) 📖 対話編 (新規作成) 対話編 (変更) 📖 対話編 (変更) 	<p>お役立ち情報</p> <ul style="list-style-type: none"> MICRO CADAM Helixの機能紹介動画をご覧ください。 📺 機能紹介動画 (注-4) 追加機能紹介 (Functions Summary) 2002年以降に追加された主要な機能をまとめた資料です。 📄 MICRO CADAM Helix 20xx編 ユーティリティー/オプション製品編 📄 ユーティリティー/オプション製品編 2022R1以降に提供されたアクセスのサンプル集です。 📄 アクセス用サンプルプログラム 作図効率UPにつながる便利な機能をまとめたヒント集です。 📄 ヒント集

メニュー解説①：上書き保存/DXFファイルの上書き

● 「DXFファイルの上書き」とは

- MC Helix 2020-R1から提供されている、DXF/DWGファイルを直接呼び出す機能に伴って提供されている機能です。
 - ✓ DXF/DWGファイルをMC Helix表示画面にドラッグ&ドロップして開く機能など
- DXF/DWGファイルを直接呼び出したDXF/DWGファイルをMC HelixでDXF/DWGファイル形式のまま上書き保存できます。
- 保存の際は、DXF/DWG変換時の設定に基づいて変換されます（下図参照）。



(参考) DXF/DWGファイルをMC Helixに関連付ける方法

● DXF/DWGファイルをダブルクリックで開く設定 (MC Helix 2020-R1以降)

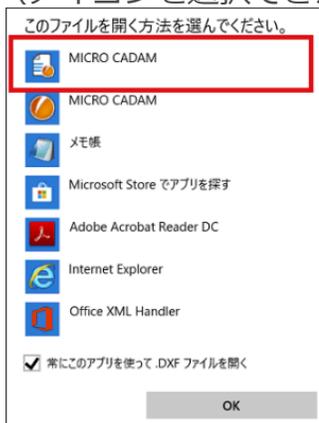
➤ 下記の手順で拡張子「.DXF」のファイルをMC Helixに関連付けることができます。

● 設定方法

1. WindowsエクスプローラーにあるDXFファイルを右クリックして、コンテキストメニュー【プロパティ】を選択
2. [全般] → [変更] ボタンを選択



3. プログラムのリストから [MICRO CADAM] を選択 (下図 赤枠)
(アイコンを選択できた場合、次の4~7の手順はスキップ可)



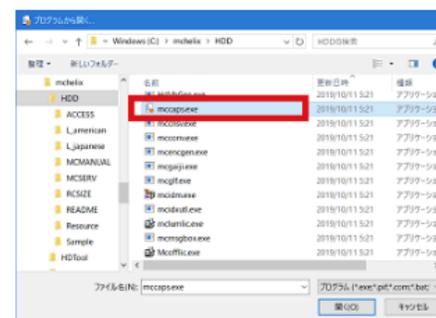
4. リストに上図の [MICRO CADAM] アイコンが表示されない場合は、[その他のアプリ] を選択し、リストからアイコンを選択
(アイコンが選択できた場合、次の5~7の手順はスキップ可)

その他のアプリ ↓

5. [その他のアプリ] を選択してもアイコンがリスト表示されない場合は、[このPCで別のアプリを探す] を選択

このPCで別のアプリを探す

6. [プログラムから開く] ダイアログボックスが表示される
7. システム区画の¥mchelix¥HDDにある「mccaps.exe」を選択
(例) C:¥mchelix¥HDD¥mccaps.exe



8. [開く] ボタンを選択
9. プロパティのアイコンが「mccaps」のアイコンに変更される
(プログラムがMICRO CADAMに変わる (下図))



10. [OK]

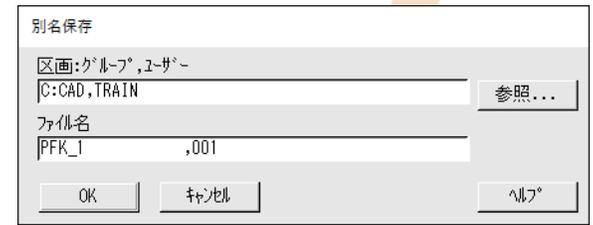
・DWGの起動についても同様の手順で設定可能です。
・この設定によりメールに添付されたDXFやDWGファイルから直接MC Helixを起動し、図面を開くことができます。

メニュー解説②：名前を付けて保存/DXFファイルの別名保存

● 名前を付けて保存にHelix Explorerを設定する

- MC Helix 2023-R1から、下図の設定を行うことでMC図面を呼び出して保存する際にHelix Explorerを利用できるようになりました。

デフォルト設定での別名保存



● 設定方法

1. Windows [スタート]
2. [MICRO CADAM Helix] フォルダ
3. 「環境設定ユーティリティ」を起動
4. [MCADAM5.SYS] を選択
5. 「図面一覧」タブを選択
6. [「名前を付けて保存」にHelix Explorerを使用する] に☑を付加
7. 「ファイル」→「保存」
8. 「ファイル」→「終了」



● 「DXFファイルの別名保存」とは

- MC Helix 2020-R1から提供されている、DXF/DWGファイルを直接呼び出す機能に伴って提供されている機能です。
- 直接呼び出したDXF/DWGファイルをMC HelixでDXF/DWGファイル形式のまま別名保存できます。
- 保存の際、DXF/DWG変換時の設定に基づいて変換されます（P11の挿入図参照）。

メニュー解説③：カプセル化図面呼び出し

● 「カプセル化機能 (mccaps)」とは

- あらかじめ指定しておいた図面をMC Helix起動時、または起動中に呼び出すプログラムです。
 - ✓ ユーザー作成のバッチ処理やプログラムからMC Helixをコントロールするための機能です。
 - ✓ カプセル化機能は、コマンド・インタープリターから起動できます。
- PDMシステムとMC Helixとの連携が必要な場合などに利用されます。
 - ✓ 例1：新規に図面を作成する場合
 1. PDMシステムで品番を発番
 2. その品番に応じた図面名でMC図面を作成 (mccaps -new)
 - ✓ 例2：検索した図面を表示する場合
 1. PDMシステムで既存図面を検索
 2. MC Helixに図面を呼び出す (mccaps -model または -que)

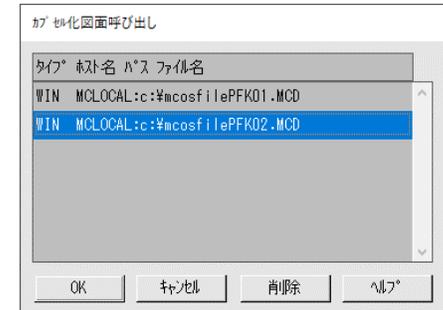
カプセル化機能のオプションに関しては次ページをご参照ください。

● メニューバー [ファイル] の「カプセル化図面呼び出し」の操作

1. mccapsコマンドを実行する際にオプションに「-list」を指定すると、「-model」や「-file」などのオプションで指定した図面がリスト表示され、カプセル化図面呼び出しダイアログが開きます。
2. カプセル化図面呼び出しダイアログから図面を呼び出します。
3. カプセル化図面呼び出しダイアログを開いた際、すでに呼び出した図面以外のリストが表示されます。

【参照マニュアル】
『管理・運用解説書』 第2章 データ管理 2.6 カプセル化機能

MC図面名形式		OSファイル名形式	
Option	指定例	Option	指定例
-dwg	>mccaps -dwg c:cad,basic ※MC Helixを区画C,グループCAD,ユーザーTRAINで起動します。 (注) グループ名以下は省略が可能です。		
-model	>mccaps -model c:cad,basic/ABC,001 -model c:cad,basic/DEF,001 ※MC Helix起動時に区画名C,グループ名CAD,ユーザー名BASICのMC図面ABC,001とDEF,001が開きます。 (注) 図面名まで入力必須です。複数図面指定が可能です。	-file	>mccaps -file c:¥mcosfile¥ABC.MCD -file c:¥mcosfile¥XYZ.MCD ※C:¥MCOSFILEフォルダのMC図面ABC.MCDとXYZ.MCDが開きます。 (注) -fileは省略可能です。複数図面指定が可能です。
-new	>mccaps -new c:cad,basic/DEF,002 ※MC Helix起動時に区画名C,グループ名CAD,ユーザー名BASICで新規図面名DEF,002で起動します。	-nfile	>mccaps -nfile c:¥mcosfile¥/UVW.MCD ※MC Helix起動時に、指定したフォルダで新規図面UVW.MCDで起動します。
-list	>mccaps -model c:cad,train/ENGINE_FRONT, -model c:cad,train/ENGINE_SIDE, -list ※「カプセル化図面呼び出し」ダイアログが表示されます。 (操作) 1.図面名を選択して [OK] でその図面が表示されます。 2.メニューバー [ファイル] → [カプセル化図面呼び出し] で再度上記のダイアログが表示されます。 (注) -dwgオプションで指定した図面は対象外です。	-list	>mccaps c:¥mcosfile¥PFK01.MCD c:¥mcosfile¥PFK02.MCD -list ※「カプセル化図面呼び出し」ダイアログが表示されます。 (操作) 左のMC図面名形式と同じです。



MC図面名形式		OSファイル名形式	
Option	指定例	Option	指定例
-gue	<p>>mccaps -gue c:¥mccadam¥MCHelix_StartMC.QUE -list</p> <p>※CドライブのMCADAMフォルダに存在する～.QUEファイルに指定されているMC図面を起動時に開きます。</p> <p>※-listオプションと組み合わせることもできます。</p> <p>(参考) MCHelix_StartMC.QUEの内容</p> <p>MC_MODEL (C:CAD,TRAIN/PFK_1,001)</p> <p>MC_MODEL (C:CAD,TRAIN/PFK_2,001)</p> <p>MC_MODEL (C:CAD,TRAIN/PFK_3,001)</p> <p>MC_MODEL (C:CAD,TRAIN/PFK_4,001)</p> 	-gue	<p>>mccaps -gue c:¥mccadam¥MCHelix_StartOS.QUE -list</p> <p>※CドライブのMCADAMフォルダに存在する～.QUEファイルに指定されているMC図面を起動時に開く。</p> <p>※-listオプションと組み合わせることもできます。</p> <p>(参考) MCHelix_StartOS.QUEの内容</p> <p>MC_FILE (MCLOCAL:C:¥MCCOSFILE¥PFK BODY.MCD)</p> <p>MC_FILE (MCLOCAL:C:¥MCCOSFILE¥PFK PARTS1.MCD)</p> <p>MC_FILE (MCLOCAL:C:¥MCCOSFILE¥PFK PARTS2.MCD)</p> <p>MC_FILE (MCLOCAL:C:¥MCCOSFILE¥PFK PARTS3.MCD)</p> 
-id	<p>>mccaps ~ -id CADAM,CADAM</p> <p>※MC HelixをユーザーD、パスワードを指定して起動する設定の場合に必要です。</p>		同左
-err	<p>>mccaps ~ -err</p> <p>※PDMBASE.ERRが出力されます。</p> <p>(注) PDMBASE.ERRはユーザー環境変数で指定されているフォルダに作成されます。</p>		同左

(参考) PDMBASE.ERRファイルの保存先

● 保存先の確認方法 (ユーザー環境変数の設定フォルダ)

● 確認手順

1. Windows [スタート]
2. [設定 
3. [システム]
4. [詳細情報]
5. [システムの設定情報]

[システムのプロパティ] ダイアログ
が表示されます。 [図1]

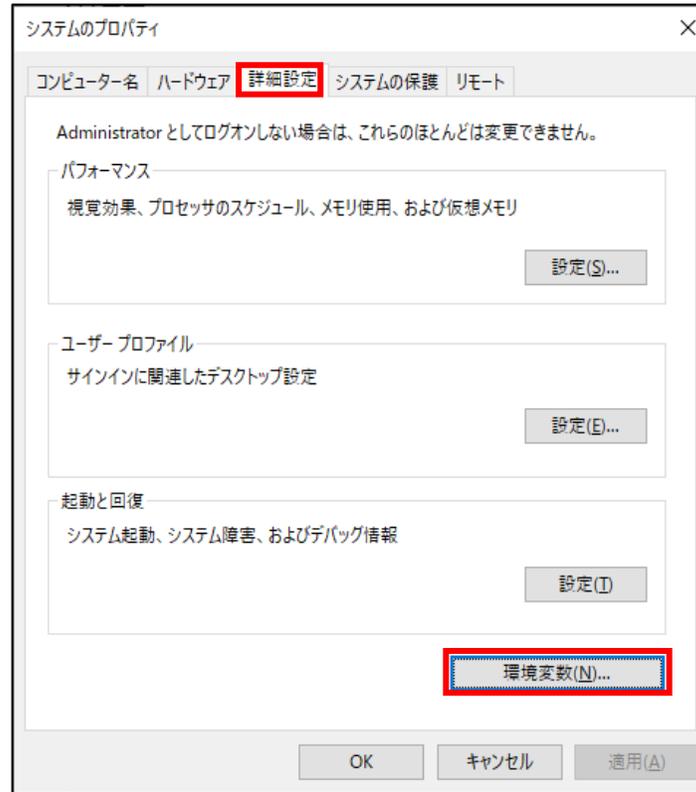
6. [詳細設定] タブ
7. [環境変数]

[環境変数] ダイアログが表示され
ます。 [図2]

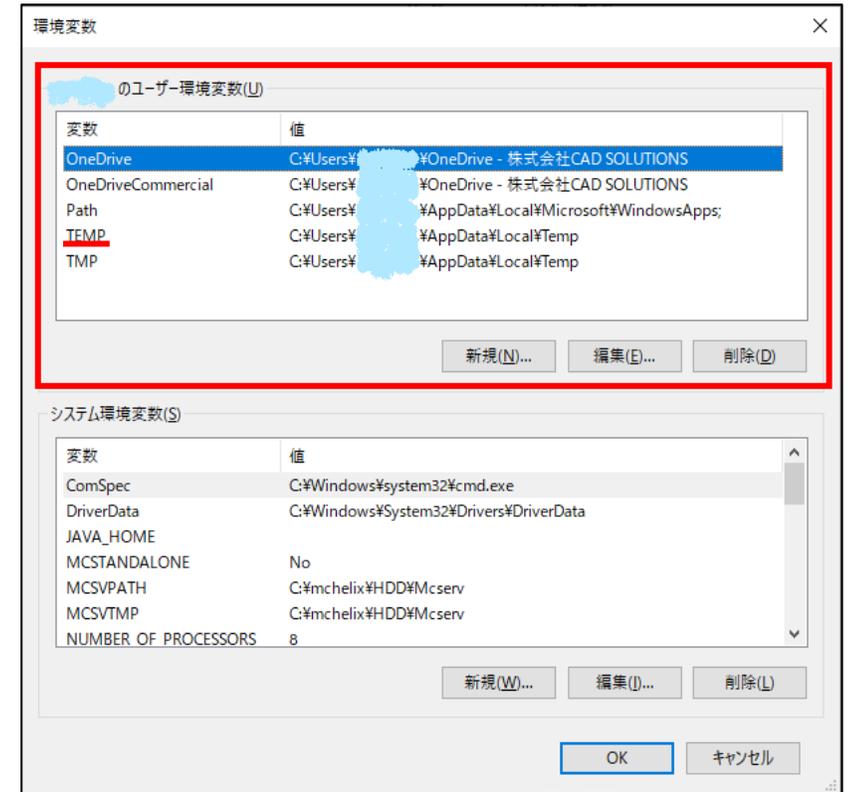
上段のユーザー環境設定のTEMPに
記述されたパスにファイルが作成され
ます。

8. [OK]

[図1]



[図2]



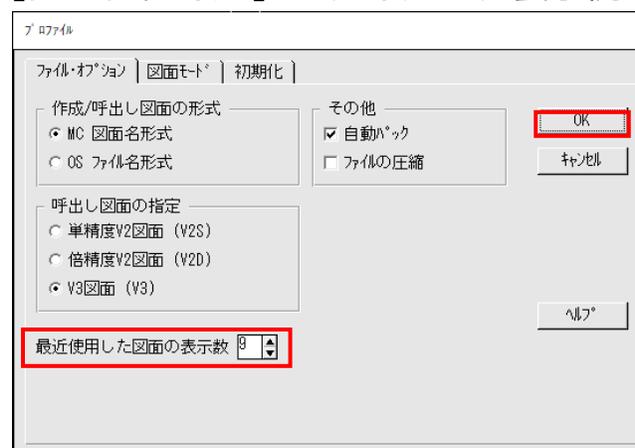
メニュー解説④：最近使用した図面の一覧表示

- 最近使用した図面の一覧表示機能について
 - MC Helix 2020-R1から追加された機能です。
 - 下記設定により最大9図面の表示が可能になります。

- 設定方法

1. ファンクション<ファイル>【プロファイル】
2. 「ファイル・オプション」タブ
3. 「最近使用した図面の表示数」の数値を変更
4. [OK]

【プロファイル】のダイアログ表示例



メニューバー【ファイル】表示例



- 留意事項

- 上から順に新しく開いた図面が表示されます。
- MC図面名形式の場合、図面名に加えて区画、グループ、ユーザーが表示されます。
- OSファイル名形式の場合、図面名に加えてファイルパスが表示されます。
- 直接呼び出したDXF/DWGファイルは表示されません。

まとめ：メニューバー [ファイル]

詳細につきましては下記のコンテンツも合わせてご利用ください。

● 参照マニュアル

- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」
→メニュー・バーの使い方→メニューの概要→メニューの概要【ファイル】

● 関連チュートリアル <https://www.cad-solutions.co.jp/MCTutorial/index.html>

- 【画面印刷】 【印刷の設定】 【印刷】 【簡易出力】
 - ✓ [上級者・管理者向け (Ⅱ)] → [出力設定ガイド] → 「簡易出力」
- 【PDF形式で保存】
 - ✓ [上級者・管理者向け (Ⅰ)] → [PDF変換設定] → 「解説書」
- 【DXF形式変換】
 - ✓ [上級者・管理者向け (Ⅰ)] → [DXF/DWG変換設定] → 「解説書」

● おすすめ動画コンテンツ

- 【DXF/DWG変換】 <https://www.cad-solutions.co.jp/movie-index/#webinarsousa>
 - ✓ [Webセミナー] → [機能解説セミナー] → 「DXF/DWG変換解説 (基礎編)」
 - ✓ [Webセミナー] → [機能解説セミナー] → 「DXF/DWG変換解説 (DXF/DWG→MC変換編)」
 - ✓ [Webセミナー] → [機能解説セミナー] → 「DXF/DWG変換解説 (MC→DXF/DWG変換編)」
- 【MC Helix 2020拡張機能】 ～DXF/DWGファイルのダイレクト変換
https://www.cad-solutions.co.jp/movie-index/mcarchive_index/#mcarchive2022



MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。